

⑫ 公開特許公報(A)

昭60-66717

⑤ Int. Cl.⁴
A 47 J 37/08識別記号
1 0 6庁内整理番号
7915-4B

⑬ 公開 昭和60年(1985)4月16日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 トースタ

⑮ 特 願 昭58-175462

⑯ 出 願 昭58(1983)9月22日

⑰ 発 明 者 植 村 吉 之 助 門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑱ 発 明 者 山 口 幸 雄 伊丹市岩屋字三の坪288番地の1 東洋プレス株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 門真市大字門真1006番地
⑳ 出 願 人 東洋プレス株式会社 伊丹市岩屋字三の坪288番地の1
㉑ 代 理 人 弁理士 中尾 敏男 外1名

2 ページ

明 細 書

1、発明の名称

トースタ

2、特許請求の範囲

焙焼室長手方向の一方の側の下方にパン受の回転軸を設け、前記パン受回転軸部側の近傍にはパン受の昇降動作と連動する凹部を設けたパン受補助ガードを回転自在に取付けたトースタ。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は一般家庭に於いて使用するトースタの構成に関するものである。

従来例の構成とその問題点

従来この種のトースタに於いては第1図に示す様に天板1の上面中心部にパン投入口2を設け前記天板1には側板3を取付け側板3の下面には裏蓋4を取付けて外筐体5を構成し、焙焼室はヒータ6、6'の外側には反射板7を設けヒータ6の内側には固定ガード8を設けて構成し、パン焙焼時厚いパンa及薄いパンbの厚みに応じて作動する

テンションガード9及び10の働きによってパンを片側に寄せる構成であった。しかしこの構成ではテンションガード9、10の働きによってテンションガード9、10側のヒータ6'とパンa、bの距離がパンの厚みd1、d2に則して変化し、従って厚みの差が大きければ大きいほど焼色が表と裏とでは大きくなる問題があった。

発明の目的

本発明はこの様な従来の問題点を解消しパンの表裏の焼色の差を小さくしたトースタを提供するものである。

発明の構成

本発明のトースタは、焙焼室長手方向の一方の側の下方にパン受の回転軸を設け、前記パン受回転部側の近傍にはパン受の昇降動作と連動する凹部を設けたパン受補助ガードを回転自在に取付けたもので、パンをパン受けにより下降させた時、これに連動するパン受け補助ガードの凹部が、パンを焙焼室の中央の位置に固定保持するようにしたものである。

実施例の説明

以下添付図面に基いて本発明の一実施例について説明する。

第2図～第8図において、20は逆L字状に成形し上面から側面の一部にまたがって開口するパン投入口を備えた天板、21は天板20の長手方向の一方の側に設けられ、天板20とともに外筐体を構成するカバー、22は前記天板20及びカバー21とともに外筐体を構成する側板である。

そして天板20の開口部は端部23を折曲げてパン受24の回動軸部25及びコ字状に成形した側面形状、L字状の金具よりなるパン受補助ガード27、28の回動部29を取付けるパン受支持板26を取付けて構成する。

第2図において、実線はパン上昇時のパン受24及びパン受補助ガード27を示し、想像線はパン降下時のパン受24及びパン受補助ガード28を示す。

パン受補助ガード27、28と対向する焙焼室の側壁にはコ字状に成形した金具30を取付けてあ

り、パン受24の先端には回動自在に取付けた昇降レバー36と一体動作する昇降ツマミ37を取付けてある。38は昇降バネで、この昇降バネ38は常に昇降レバー36を上方へ付勢する様にしている。

39は昇降レバー36の下方に設けたスイッチと電氣的に開閉することを兼ねて昇降レバー36と接続するフック、40は焼色調整用ツマミ、41はヒーターガード、42はヒータ、43は側板22の下方に回動自在に取付けた裏蓋、44は把手である。

上記構成において動作を説明すると、第5～第6図において、パン焙焼時、パンを焙焼室に投入した時のパン100は前記パン受補助ガード27の下方の凹部31に乗る様に凹部31を設け、パン受24が焙焼位置にある時パン101は、パン受補助ガード28の凹部33に乗ったパン101の自重により、パン受補助ガード28の上方の凹部34と焙焼室側壁上部に設けたコ字状凹部35にガイド、保持され焙焼する又パンの厚みとの関

係については、薄いパンの場合は、前記パン受補助ガード27、28の凹部33、34及31、32の部分とコ字状金具30の凹部35に保持される。厚いパンの時は、前記パン受補助ガード27、28の凹部33、34及31、33のテーパー部分に保持される。

以上の構成によりパンは焙焼室のヒータ間中央部に保持され、パンの厚みに変化があってもヒータとパン面の距離が表と裏面との差がなくなる為焼色にムラがなくなり均一なるものである。

発明の効果

前記実施例から明らかな様に、本発明のトースタは特にパン受の上方側壁に相対向するパン受補助ガード及び凹部を設けることによりパンをヒータの中央部に容易に保持出来る為最近の厚切パンの普及にも容易に対応出来るものである。

4、図面の簡単な説明

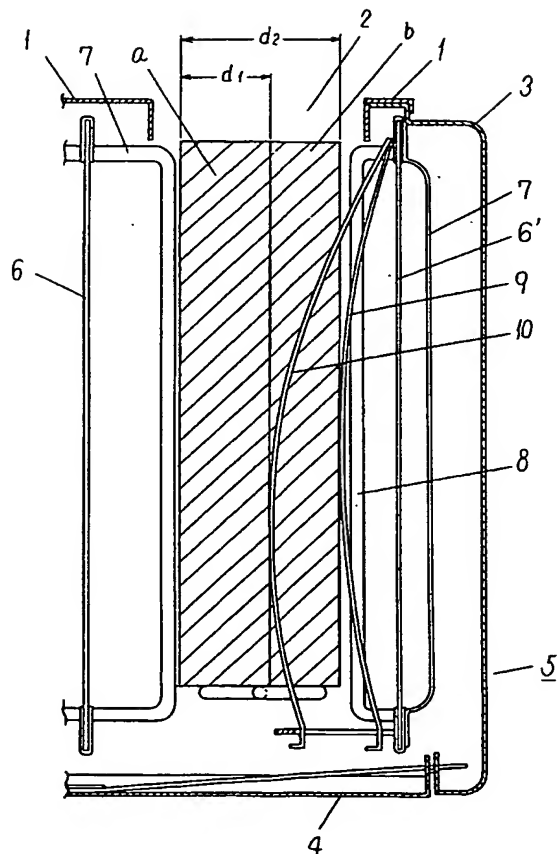
第1図は従来のトースタの断面図、第2図は本発明の実施例のトースタの斜視図、第3図は同上面図、第4図は同断面図、第5図は同パン投入時

パン焙焼時の断面図、第6図は薄いパン投入時及び厚いパン投入時の上面図、第7図はパン受及びパン受補助ガードの分解斜視図、第8図は昇降レバー部の拡大図である。

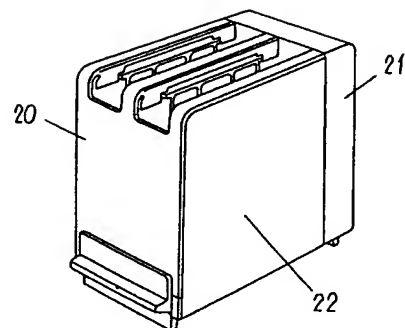
24……パン受、25……パン受回動軸部、27、28……パン受補助ガード。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名

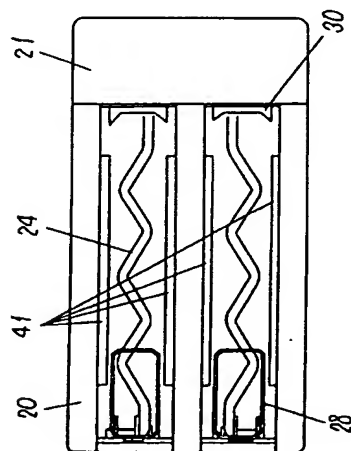
第 1 図



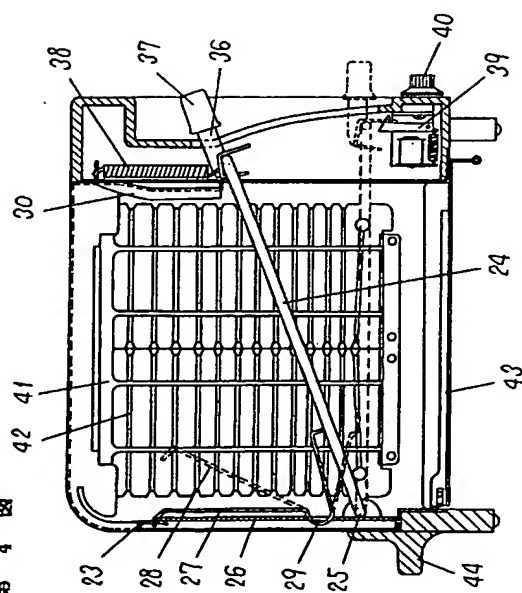
第 2 図



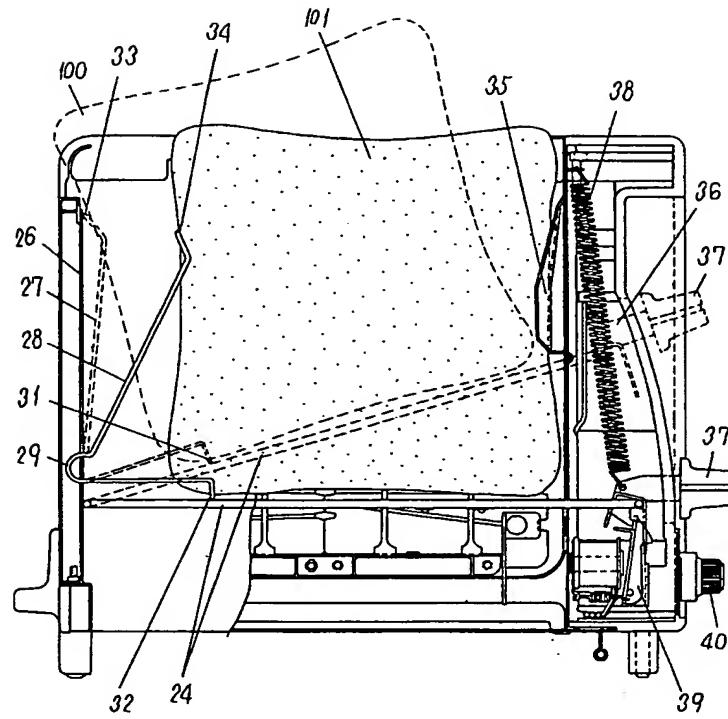
第 3 図



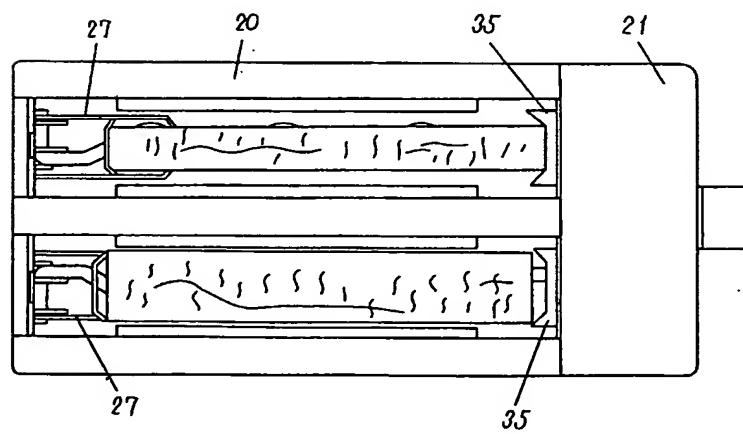
第 4 図



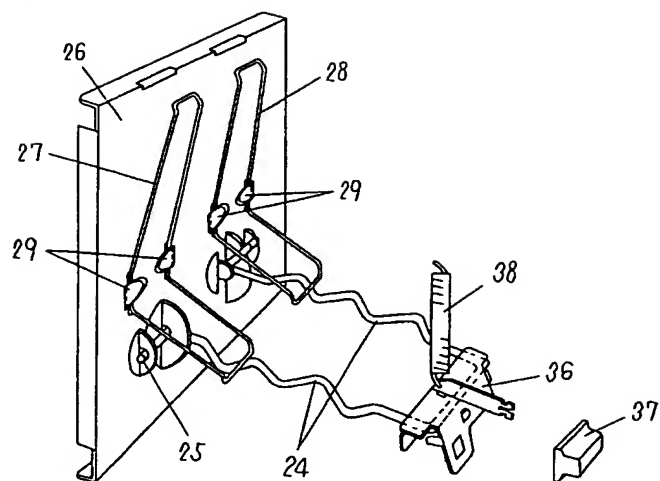
第 5 図



第 6 図



第 7 図



第 8 図

